“人類が特別で宇宙ロケットを作り出すまでに至ったのは、大きな脳を持っているからではなく、一万にも及ぶ個人が協力して知を生み出すことができたからだ”

（人類学者 キム・ヒル）

ヒトは「学ぶ動物」

- 「学ぶ」は本能（潜在能力は生まれつき備わっている）
- 本質は Trial & Error（課題：Errorの受け止め）

ヒトの学びのスタイル

探究系学び
ここに個性
（好き＊得意）
が出やすい！

個別学習
（ゾウリムシ）

憧れ系学び
色んなものを
見せるといいかも

模倣学習
（サル）

教育学習
（ヒト）

教科系学び
教える人＆学ぶ人
が知恵・文化を世
代を超えて共有

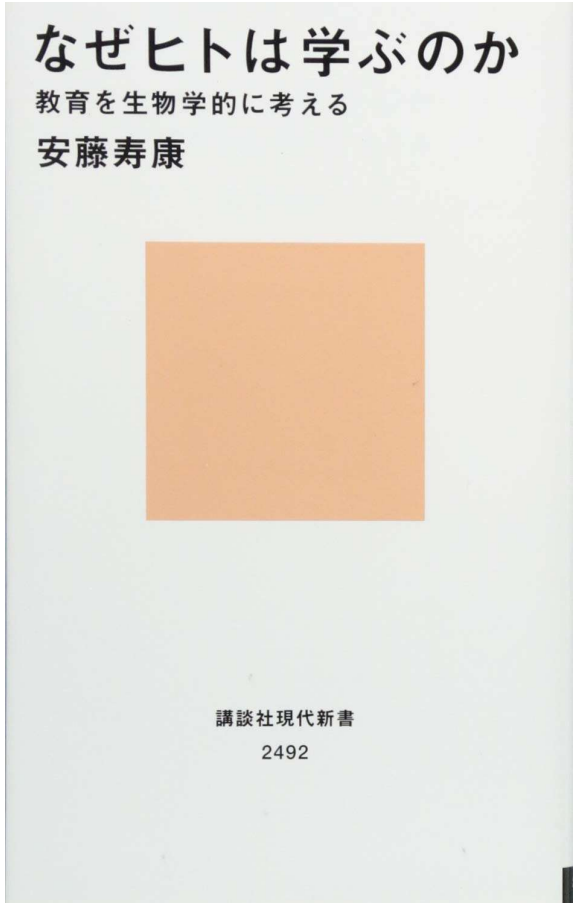
- バランスが大切／この３つをグルグル回す
- 幅広い経験をする→「好き×得意」にトコトン！
（例：虫、紙飛行機 etc.）　⇒ 環境構成が最重要

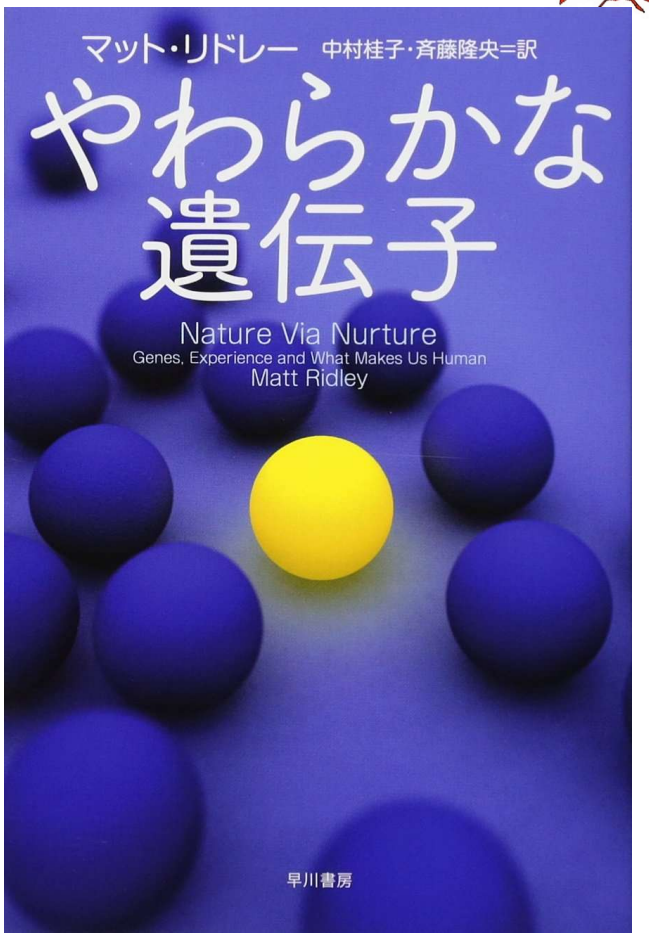
タクシードライバー

随分と昔のある夜、友人との飲み会を終えた私は、ご機嫌でタクシーに乗り込みました。

・故野村監督と同郷（京都の田舎）のご老人

・中卒で大阪に丁稚奉公





子育て成功への道　www.kids-island.biz/sakaitani/2018/05/28/books-14/

6C：学びのカギ（教科を通して以下を学ぶ）

Confidence（自信）	Communication（コミュ）
Collaboration（協働）	Contents（内容）
Creative Innovation（創造性）	Critical thinking（批判思考）

・過保護は自信をうばう。人の役に立つ効用感。
・コラボやコミュ力はペーパーテストでは養えない。
・少数派になる勇気なくして創造性はない
・ContentsにはMI理論では８種類の知がある…

「Contents」伝達が、子どもの学びたいとフィットしているか？
→「発達段階や興味・関心」に応じた、幅広い学びの時代へ

まとめ：学びについて

- 「幅広く経験」＋「好き×得意はトコトン」
  ～学びの本能を解放すべしっ！「失敗のない学び、それ失敗」
- 求められる資質は変わった（創造、協働…）
  ～世界の学びは急激にシフト→「個別／教科／探求」を回して６Cゲット！
- 学び続ける人が勝つ（幸せ、自分らしさ、成功…を定義づける）

PS：３S（睡眠、食事、しゃべり）は常に大切